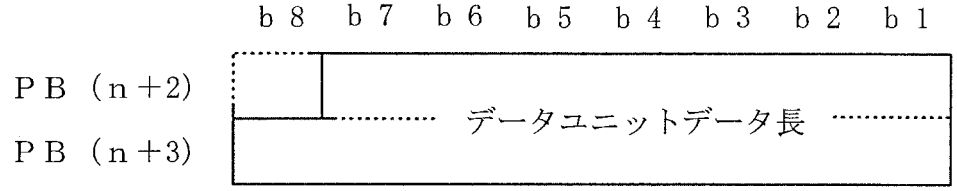
別記第四　データ長（データユニットデータ長）の構成

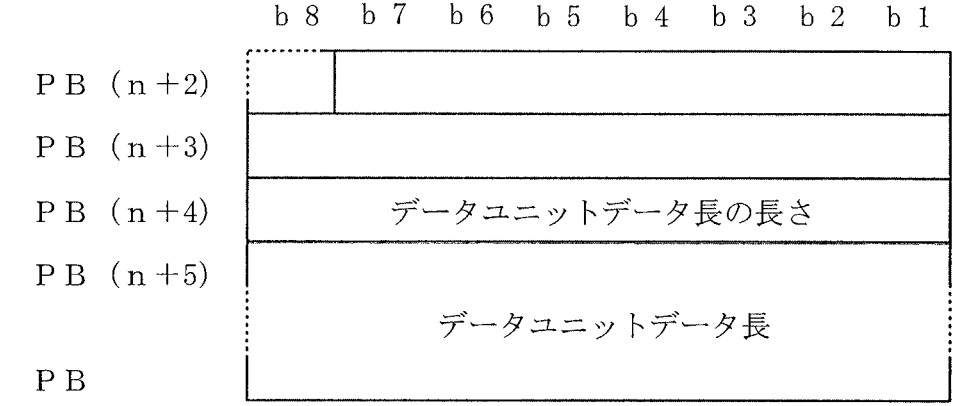
1　データユニットデータ長が32,766バイト以下のとき



注１　ｎは、データユニットパラメータのバイト数とする。

2　データユニットデータ長は、ＰＢ（ｎ＋２）のｂ７～ｂ１を上位バイト、ＰＢ（ｎ＋３）のｂ８～ｂ１を下位バイトとする２進数により、データユニットのバイト数を示すものとする。

2　データユニットデータ長が32,767バイト以上のとき



注１　ｎは、データユニットパラメータのバイト数とする。

2　ＰＢ（ｎ＋２）のｂ７～ｂ１は、“1111111”とし、ＰＢ（ｎ＋３）は、“11111111”とする。

3　データユニットデータ長の長さは、２進数で表したものとする。

4　データユニットデータ長は、ＰＢ（ｎ＋５）を最上位バイトとする２進数により、データヘッダのバイト数を示すものとする。

別表第七号　スクランブル制御の構成

項目	内容
1　スクランブル制御の構成	スクランブル制御（ＳＣＣ）は、スクランブル識別フラグ（ＳＣＦ）及び鍵更新タイミングフラグ（ＳＣＴ）から成る。 ←――― スクランブル制御（ＳＣＣ） ―――→ スクランブル識別フラグ ＳＣＦ ／ 鍵更新タイミングフラグ ＳＣＴ
2　スクランブル識別フラグ及び鍵更新タイミングフラグの構成	⑴　スクランブル識別フラグ（ＳＣＦ） スクランブル識別フラグは、スクランブルを行ったパケットデータの送出時には“1”とし、スクランブルを行わないパケットデータの送出時には“0”とする。 ⑵　鍵更新タイミングフラグ（ＳＣＴ） 鍵更新タイミングフラグは、スクランブルに使用する鍵を当該パケットで新たに更新する時に“1”とし、前パケットと同じ鍵を使用する時は“0”とする。

注１　スクランブルに関する関連情報を伝送制御データに従い論理チャネルを用いて伝送する場合は、次のいずれか、又は併用することができる。

⑴　伝送制御データにおいて、ＭＩを「１」として指定する論理チャネル。

⑵　伝送制御データにおいて、ＳＶを「１」、ＰＲを「65280」、ＭＩを「１」として指定する論理チャネル。

2　関連情報は、多重副搬送波を使用する伝送方式の場合は、別表第一号第３項の表に示す論理チャネル（ＬＣＩ１とＬＣＩ２の組合せ）以外の任意の論理チャネルで伝送し、垂直帰線消去期間を使用する伝送方式の場合は、別図第二号注３の表の１から30までのうちの任意の論理チャネルで伝送し、音声信号副搬送波を使用する伝送方式の場合は、別図第三号注２の表の１から30までのうちの任意の論理チャネルで伝送する。

○総務省告示第三百十一号

有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令（平成二十三年総務省令第九十五号）第十一条第三項第三号の規定に基づき、総務大臣が別に告示するデジタル有線テレビジョン放送方式に関する多重フレームヘッダ情報の構成を次のように定め、平成二十三年六月三十日から施行する。

なお、平成十二年郵政省告示第五百二十二号（デジタル有線テレビジョン放送方式に関する多重フレームヘッダ情報の構成を定める件）及び平成十四年総務省告示第四十三号（有線役務利用放送に係るデジタル有線テレビジョン放送方式に関する多重フレームヘッダ情報の構成を定める件）は、平成二十三年六月二十九日限り廃止する。

平成二十三年六月二十九日　　総務大臣　片山　善博

有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令第十一条第三項第三号別図第二に規定するデジタル有線テレビジョン放送方式に関する多重フレームヘッダ情報の構成は、別表に示すとおりとする。

別表　デジタル有線テレビジョン放送方式の多重フレームヘッダ情報の構成

パケットヘッダ	多重フレーム同期情報	変更指示	スロット情報	識別子／相対ＴＳ番号対応情報	送受信制御情報	相対ＴＳ番号／スロット対応情報	拡張情報	ＣＲＣ
32	16	3	21	480	32	208	680	32

注１　単位の指定のない数字は、その領域のビット数を示す。以下同じ。

2　「0x」に続く数字を16進数とする。以下同じ。

3　‘　’で囲まれた数字は２進数とする。以下同じ。

4　パケットヘッダは、別記第１に示す構成とする。

5　多重フレーム同期情報は、別記第２に示す構成とする。

6　変更指示は、多重フレームヘッダ情報のうち「スロット情報」、「識別子／相対ＴＳ番号対応情報」、「送受信制御情報」及び「相対ＴＳ番号／スロット対応情報」のいずれかの内容に変更が生じるごとに１ずつ増加され、‘111’の次は‘000’とする。

7　スロット情報は、スロット配置法の区別、多重フレーム形式及び相対ＴＳ番号に対する有効・無効指示を示すものとし、その構成は別記第３のとおりとする。

8　識別子／相対ＴＳ番号対応情報は、相対ＴＳ番号とＴＳ識別／オリジナルネットワーク識別との対応関係を示す領域であり、その構成は、別記第４のとおりとする。